

兵庫保険医新聞

第2020号
2022年10月25日

発行所 兵庫県保険医協会
http://www.hhk.jp/
〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31
神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801
(1部350円送料共・年間購読料12,000円)
振替01190-1-2133
(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

- 主張 「介護保険制度の改悪に反対しよう」 2面
- インタビュー オンライン資格確認義務化反対② 2面
- 研究 診内研より 「ワクチンの効果と安全性」 4面

ラジオ関西番組出演 毎週土曜20時02分頃～

「医療知ろう！」放送中!!

AM558kHz/1395kHz (県北部) FM91.1MHz

- 10月29日 口呼吸と歯の健康被害について
- 11月5日 介護保険制度の改悪について
- 11月12日 CAD/CAM (仮)

75歳2倍化やめよ

10/1 川西副理事長がアピール



75歳以上の窓口負担2倍化に抗議し、社会保障の充実を訴える住江憲勇保団連会長(左2人目)、左から4人目が川西副理事長

政府が75歳以上の窓口負担2倍化を強行した10月1日、保団連は「75歳医療費2倍化に抗議する10・1新宿デモ」を実施し、兵庫協会から川西敏雄副理事長が参加した。参加者は新宿駅前での抗議のスタンディングを行った後、駅周辺をパレードし、通行人や買い物客に、2倍化の撤回や医療・社会保障の充実を訴えた。

兵庫県保険医協会第100回評議員会

臨時(決算)総会・第45回共済制度委員会

- 11月20日(日) 13時～ 兵庫県保険医協会会議室
- ・13時～ 第100回評議員会 ・14時50分～ 臨時(決算)総会
- ・15時～ 第45回共済制度委員会
- 特別報告「ウィズコロナ時代の金融経済情勢と生命保険業界」
太陽生命保険株式会社 取締役常務執行役員 下屋敷 縁氏
- ・16時10分～ 特別講演

「中間層復活のための処方箋 — 医療分野の位置づけ」

永濱 利廣氏 (株式会社第一生命経済研究所経済調査部 首席エコノミスト)

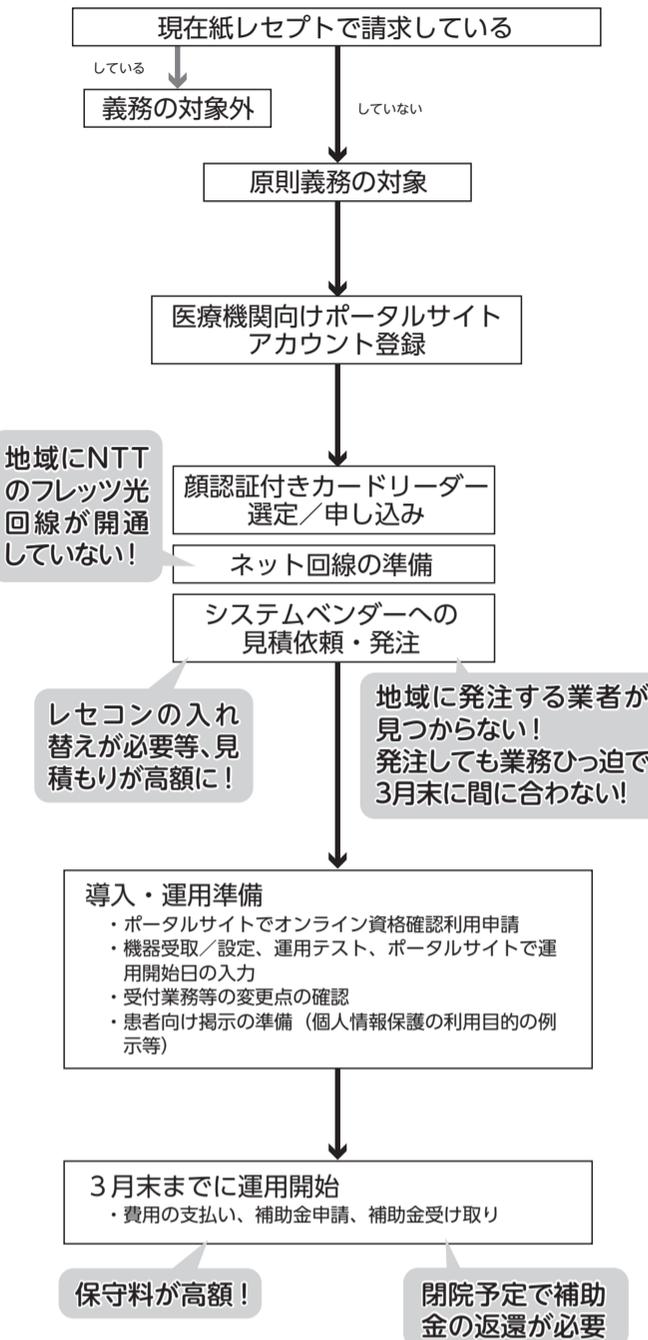
日本経団連のシンクタンク「21世紀政策研究所」で研究主幹として、「中間層復活に向けた経済財政運営の大転換」をまとめ、メディアでも活躍中の第一線のエコノミストである永濱利廣氏から、日本経済復活の処方箋をお聞かせします。

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1817まで



厚労省 4月からの完全義務化「難しい」

図 オンライン資格確認導入のプロセスと問題点



(医療機関向けポータルサイトをもとに協会の作成)

オンライン資格確認

厚労省に義務化撤回求める

突然、療養担当規則を改定し、医療機関に来年4月から義務付けられた「オンライン資格確認」。協会では、反対署名に取り組みとともに、会員からの切実な声を受け、10月4日に厚生労働省交渉を実施し、オンライン資格確認の義務化の撤回を迫るとともに、閉院予定の医療機関や回線の問題等への対応を問いただした。

通常ネット回線でも可能な方向

交渉では、厚労省の保険局医療介護連携政策課保険課で、交渉室から担当官が出席した。

協会側からの、オンライン資格確認導入に必須となるNTT西日本によるフレッツ光回線が開通していない地域の医療機関はどうすればよいのかとの質問に、厚労省側は、

サービス提供範囲外では通常のインターネット回線(ADSL等)を利用できるように業者と相談を進めていると答した。これに対し、協会は4月からの義務化を決めておきながら、

「まだに業者と相談しているなどというのはあまりにも無責任であり義務化は撤回すべきであると強く訴えた。閉院予定の場合、猶予措置の可能性」

また、厚労省がオンライン資格確認システムの導入に際して、補助金を利用した場合、法定耐用年数内に、閉院などでシステムを使用しなくなった場合は補助金の全部または一部を返納せよとしていることについて、協会は高齢の医師・歯科医師から「数年以内に閉院する予定なので、これを機にオンライン資格確認システムを導入せず閉院時期を早める」との声が届いていることを紹介。「開業医の高齢化が問題となる中、地域での医療提供体制が脆弱となる恐れがあり、年齢等による例外規定を設けるべき」と追った。

厚労省側は、年限は決まっていないが、閉院予定が近い場合は対象外とする方向で議論を進めている旨の回答を示しては、義務化を押し付けな

燭心

幸福度ランキングで世界149カ国中、5年続けてフィンランドが1位にランクインした。偶然ではない。「ウエルビーイング」(幸せ)という考えをベースにした、国民と国民が選出した政権による施策の結果と言われ、キーワードは「安心」だそう。現状や将来の不安が払しょくされれば、幸せを感じやすくなるだろう。国民全員で工夫し幸せを具現化しているらしい。

「様々な事情で導入が困難な医療機関については、経過措置を設けるか、恒久的に対象外とする等の対応をとる予定である」とした。療養担当規則の変更については、「違反による」4月の時点での保険医療機関指定取り消しはありえない。地方厚生局に対しても、個別の事情を丁寧に把握して対応するようにと徹底している」と述べた。

ただし、補助金については「3月末以降についても厚労省としては当然、補助金の延長を強く求めていくが、確実ではない」とした。これに対し、協会は、ベンダーの業務ひっ迫で導入開始が遅れたことを理由に医療機関に負担を強いることがあってもならないと強く訴えることにも、改めて義務化の撤回、延長を迫った。

協会では、引き続き「義務化撤回を求める署名」に取り組みとともに、会員からの声を集め、厚労省や財務省に必要措置をとるよう求めていく。ぜひ、多くの会員の協力をお願いしたい。(2面に会員インタビューと署名の紹介)

しかし、政権は社会保障削減ばかりを行い、国民不安をおおってきた。現在も、戦争という言葉で不安をおおっている。泉市長の人間性ではなく、実績を振り返りたい。地方の自治体だが、社会保障、特に子育て支援策を格段に充実させた。結果、人口は増加し市税収入も増やしている。フィンランドと同じように思う。市のパンフには「安心」の文字が躍る。他分野に大きな影響があった。それが、それでも社会保障を優先した。これは社会保障を充実させると経済が成長するという兵庫県保険医協会の主張とも合致する。結果が良かっただけとの声もあるが、やる気があれば変えられるという事例を自治体が見せたのだ。次は政府の番だ。政府を突き動かすのは世論だ(連)

主張

介護保険制度は2000年4月から開始された。高齢化・核家族化の進行により、高齢者の「社会的入院」を問題視し、地域でその人の生活を支える制度が必要ということが大義名分だった。

しかし、ももとの制度設計から大きな問題点が複数あった。

①保険料の設定が不合理である。介護費用の増加が、被保険者が負担する保険料と直接連動する仕組みとなっており、低所得者の負担率が高く、逆進性が強い。保険料の負担は40歳以上だが、サービスを利用できるのは原則65歳からである。

②医療のように現物給付ではなく、現金給付である。

真の社会保障制度に助け合い(共助)から

③不合理で実態とそぐわない要介護認定。介護認定調査員の対応で要介護度が左右される。

④状態の急変に迅速に対応できない(認定・判定に時間がかかる)。

⑤介護報酬があまりも低く、介護労働者の労働条件が低く抑えられている。

加えて、「要支援」ができ、予防や自立支援が強調され、さらには「総合事業」として一部事業を介護保険制度から外し、地方自治体に責任を押し付けた。制度開始から20年以上が経つが、制度は改善されるどころかどんどん利用しづらなものとなっている。さらに、厚労省の社会保障審議会は9月26日、来年度の介護保険制度改定に向けて、さらなる負担増・給付

ケアプラン作成の有料化、⑤要介護1・2の生活援助(ヘルパー)の保険給付外し、⑥利用者負担2〜3割負担の対象者拡大、⑦福祉用具貸与制度(レンタル)の見直し。年末までに一定に方向性を示し、来年度の改定に向かうと言っている。

もともと欠陥だらけの制度を、ほとんど利用できない、共助制度ですらあり得ない保険料だけ徴収する制度に変えようとしている。

介助の必要な人々が地域で安心して過ごすためには医療・介護が両者ともに充実していることが必要条件である。

自助・共助の制度ではなく、憲法25条にのっとった「社会保障制度」となるように、国民運動を盛り上げていこう。

インタビュー②

拙速な導入は見直しを

長田区・歯科 志水雄一郎先生

政府・厚労省がオンライン資格確認について来年4月からの原則義務付けを療養担当規則に盛り込んだことに対し、協会は医師・歯科医師署名に取り組みむなど、義務付けと保険証廃止の撤回を求めて運動している。会員の声をシリーズで紹介する第2回目。



私はデジタル化そのものは、自身もオンライン資格確認の世の流れだと思いますし、自分 医療機関等向けポータルサイトのアカウントを取得して手続きを進めています。ただ、保険医療機関指定の取り消しを政府が言い出した

オンライン資格確認のシステム導入義務化と健康保険証の原則廃止の撤回を求める要請署名 ご協力をお願いします！

ご協力がまだの方はぜひご協力をお願いします。オンライン署名は右の二次元コードから



紙の署名用紙のご注文は、☎078-393-1807まで

文化部・尼崎支部 落語・トークの夕べ

感想文①

心の棘を抜く
〜仏教と医療から〜

10月1日に協会会議室で開催された「落語&トークの夕べ」に、露の団姫さん(落語家、尼崎市・天台宗「道心寺」住職)、高宮良さん(精神科医・京都市・こう心療クリニック院長)が出演した(前号既報)。参加者の感想を2号にわたり紹介する。

自分自身を大切にすることが必要

に宗教を「信仰」すること

と、昨今、問題になっている

宗教への「依存」とは違うの

ではないかと教えていただき

ました。

自分より他人を大切に、周

囲への配慮を優先すること

は、良くないこと、うつ傾向

のようです。コロナや戦争

露の団姫さんは、釈迦は弟子が自殺した時「コメントであったのお話もされました。それは、自分がその死に意味を付けることになるから。意味付けしないことが大切。意味を付けると自分の話になってしまふことでした。

「飛行機が怖いなら怖いと素直に表明する」こと、「弱

いことを明かしてもバカにさ

りません。

お二人の声が美しく澄み切

っていること、お話が明快で

温かく、本当に心地の良い講

演会でした。2時間があつ

いう間でした。在宅医療にも

携わっていることから、

「死」については日々隣合

わ

せてです。

今回の講演により、ますます

心大切に「死」を意識

して「生」を大切にしよう

肝に銘じました。

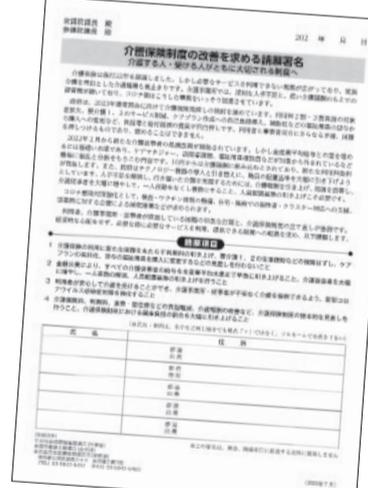
【尼崎市 山本 房子】

介護保険制度の改善を求める 請願署名にご協力ください

政府は、2023年をはじめの通常国会に向けて介護保険見直しの検討を進めています。協会は、経済的な心配をせず、必要な時に必要なサービスを利用、提供できる制度への転換を求め、署名運動に取り組むこととしました。

先生ご本人やご家族、スタッフの皆さん、患者さんにご協力を呼びかけていただければ幸いです。

署名用紙は11月初旬お届け予定の月刊保団連11月号に同封します
追加注文は、☎078-393-1807まで



月刊保団連11月号に同封の「介護保険制度の改善を求める請願署名」

● 医院経営研究会 11月例会

年末調整の知識と実務

日時 11月19日(土) 14時30分~17時00分
会場 協会6階会議室 (Zoom併用)
講師 田口 智弘 税理士 (協会税務講師団)
参加費 3,000円 (医経研会員は無料)

Zoom参加希望者は右記のQRコードからお申し込みください
来場参加希望者は、☎078-393-1807まで



会員計報

中村 護 先生
加古川市 眼科
9月18日 享年49歳

前田 浩 先生
準会員 小児科
9月22日 享年75歳

西田 禎宏 先生
西宮市
外・胃腸・リハ・肛門科
10月14日 享年69歳

ご冥福をお祈り
申し上げます

会員いんぷあゆ-しよん

歯科診療所譲渡

◆伊丹市昆陽南4-8-15 プレステル昆陽1階
◆鉄筋3階建/状態良好
◆特養2施設在診中
◆委細面談の上
◆お問い合わせは、☎078-393-1809まで

勤務医の先生方へ

住所・勤務先変更は協会までご連絡を

自宅住所・電話番号・勤務先などを変更された勤務医会員の先生は、事務局までご連絡ください。

連絡先は、☎078-393-1817 組織部

医科保険請求



〈レセプト「摘要」欄 別表Ⅱ「薬価基準」の新設〉

Q1 診療報酬明細書(レセプト)の「摘要」欄の記載要領に変更があるのか。

A1 今年4月の診療報酬改定で、レセプト「摘要」欄の記載要領に別表Ⅱ「薬価基準」が新設されました。薬の処方にあたってレセプト「摘要」欄に記載が求められている内容がコード化されています。9月診療分までは経過措置でしたが、10月からはコード選択が必要です。

アコファイド錠やイベニティ皮下注、ザルティア、ベイスン錠などの汎用薬剤も該当するので、ご注意ください。

Q2 別表Ⅲ「検査値」も新設されたようだが。

A2 レセプト「摘要」欄の記載要領に別表Ⅲ「検査値」も新設されコードが示されていますが、対象はDPC病院のため、診療所でのコード選択は不要です。

審査・指導相談日

●11月10日(木) 15時～
●協会5階会議室

※医科は事前予約制 ☎078-393-1840まで、
歯科は随時 ☎078-393-1809まで

※「指導通知」が届いたら、まず保険医協会にご連絡ください。

* 共済部だより *

「保険医年金」の新規加入者証は11月末までにお届けします

この春にお申し込みいただきました「保険医年金」9月1日発足分の加入者証は、11月末までに大樹・富国・明治安田各生命保険会社の担当社員を通じてお届けします。内容をご確認のうえ担当社員に「受領書」をお渡しください。

保険医年金「積立金通知書」「生命保険料控除証明書」は11月初旬にお届けします

現在ご加入の保険医年金の「積立金通知書」は、11月初旬に大樹生命より送付いたします。積立金合計は2022年8月末現在(2022年9月1日発足分は含まれません)の元利合計となっています。また、加入年度が多い場合は、2枚になっている場合がありますので、ご注意ください。

来年の確定申告に必要な「生命保険料控除証明」が積立金通知書の下段に記載されていますので、切り取って保存のうえご利用ください。

積立年金「DefL」(デフェル)の「生命保険料控除証明書」は11月初旬にお届けします

積立年金「DefL」(デフェル)の「生命保険料控除証明書」、「ご加入のお知らせ」(被保険者票)は、11月初旬にお届けします。昨年からお加入の皆さまには積立金残高等が記載された「ご加入内容のお知らせ」を11月下旬に送付いたします。

「グループ保険」「新グループ保険」の「生命保険料控除証明書」は10月末にお届けします

「グループ保険」「新グループ保険」の「生命保険料控除証明書」は、ご加入の皆さまへ10月末にお送りいたします。

お問い合わせは、☎078-393-1805 共済部まで

ISR Intelligent Social Reliance アウトソーシング サポート

社会保険労務士 ISR 梨本	合同会社(LLC法人) ISR パーソネル	株式会社 アイ・エス・アール
働き方改革策定 労働条件・ハラスメント	副業推進支援 人材紹介・リーダー育成	データセンター ISR レセプト管理・情報デザイン
労働保険事務組合 経営者会議 概算確定・労災特別加入	ISR e-Sports シニア躍動・企業健康経営	ISR サテライトオフィス リモートワーク・ウェブ会議

信頼・向上 そして社会貢献

ISRグループ 🔍 検索

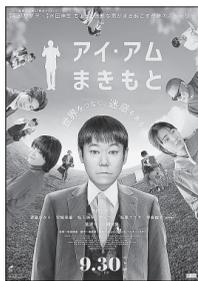
〒650-0026 神戸市中央区古湊通1丁目2番 (ISRビル)
(業務案内) TEL 0120-366-761



私の映画案内

白岩一心

「アイ・アム まきもと」



©2022 映画「アイ・アム まきもと」製作委員会

「赤穂郡 白岩歯科医院」

「赤穂郡 白岩歯科医院」

空気を読めない！人の話を聞かない！なかなか心を開かない！ちょっと迷惑な男性がまきとです。奇跡の物語を紹介します。天涯孤独、孤独死が最大のテーマです。

小さな市役所に勤める牧本(阿部サダヲさん)の仕事は、人知れず亡くなった人を埋葬する「おみおくり

係」。故人の思いを大事にするあまり、つい警察のルールより自分のルールを優先して刑事・神代に日々怒られています。ある日牧本は、身寄りなく亡くなった老人・無木の部屋を訪れ、彼の娘と思われる少女の写真を発見します。

阿部サダヲさん、満島ひかりさん、宇崎竜童さん、宮沢りえさん、國村隼さんなど豪華俳優陣が好演されています。

新任局長・小野口が「おみおくり係」廃止を決定。無木の一件が「最後の仕事」となった牧本は、写真の少女探しに奔走し、一人でも多くの参列者を葬儀に呼ぶため、わずかな手がかりを頼りに、無木のかつての友人や知人を探し出し訪ね歩きます。

家族葬が当たり前の現代、孤独死、相続、お墓じまいと問題は山積みです。今後起こりえる問題を考えながら鑑賞してみたいかがでしょうか？

投稿員

世相巷談(Ⅰ)

〔古代中国の賢人から学ぶ〕

―(殷鑑遠からず)―

明石市 永本 浩

最近の世相を鑑みるに、21世紀の今日、自然科学が進歩発展し、なかんずくスマホや家電製品のおかげで生活は便利になったが、人類の社会・人文科学の進歩はほとんどないと思える。もし今の日本に2000年以上前の孔子、韓非、司馬遷のごとき偉大な思想家、歴史家がいたら何と云うだろうか？

まず開口一番「昔、注意喚起したことを少しも遵守していないではないか！何のため中国二十四史の紀伝体の世界に誇る正史たる『史記』を書いたのか！」筆者は当然な決めた。「輕佻浮薄」な言動

が自立つ。「論言汗の如し」首相の言うことは出た汗を体内に戻すことが出来ないように、一度口から出たら取り消し訂正できない。総理としての「鼎の輕重」が問われる。安倍元総理の国葬にて自分の「墓穴を掘る」。三国志の五丈原の戦いの如く安倍の横死で岸田が走る「死せる孔明、生ける仲達を走らす」。

次に五輪汚職の件だが、「百鬼夜行」の世界「天網恢恢疎にして漏らさず」。次から次に高橋、青木、角川：「芋づる式に逮捕されているが「蜥蜴の尻尾切り」にして本丸(国会議員)に追及が及ぶのか。韓非子の世界で説明がつく。荀子の「性悪説」の延長線上に法家の思想「人は利によってのみ動く」。

(次号に続く)

川柳

詠み人 おさむ

バカじゃない ビクともしない 我が自民 by 二階

丁寧は 同じ説明 丁寧に

天皇も 民も従え 内閣に

主権者は 内閣じゃない 国民ぞ

2世泣き 解散させて 総理殿

改憲も 教会案なり 自民案

マイナ義務 嘘つく政権 怖いです

大陸よ！ 日本議会は クローズね



診内研 より534

ワクチンの効果と安全性 HPVワクチンと新型コロナウイルスワクチンを例に

名古屋市立大学大学院医学研究科 公衆衛生学分野教授 鈴木 貞夫先生講演



兵庫県保険医協会

☎ 078-393-1801

Fax 078-393-1802

http://www.hhk.jp/

ワクチン総論： ワクチンとはどういうものか

世界保健機関（WHO）が2019年に発表した「世界の健康に対する10の脅威」に、大気汚染・気候変動やインフルエンザ大流行とともに「ワクチン忌避」が選ばれた。もともとワクチンは感染症を回避する最も費用対効果の高い方法のひとつであり、多くの人命を救ったのみならず、歴史的にも、天然痘、ポリオなどの多くの感染症に対し、撲滅、激減など絶大な効果をあげてきた。

自らが積極的にワクチンを接種して自らの予防に役立てるのみならず、接種できない人たちの感染症防護の盾になることで、その人たちの疾患発症リスクを減らして（集団免疫）、医療従事者の疲弊防止、最終的には医療崩壊防止の一助となる（社会防衛）。少なくとも、コロナ禍第5波の死亡抑制に対して、ワクチンの果たした役割は大きかった。

しかし、予防接種に対する疑念の始まりとされている、ウェイクフィールド論文（MMRワクチンと自閉症の偽りの関連性）がThe Lancetに掲載されてから、小児期のワクチン接種を避ける動きが着実に強まった。多くの研究者の追試により科学的に完全に否定された今なお、この誤った主張や無責任な報道によって、不安を感じた保護者の中にはワクチン接種を見合わせる人がある。

現在の日本では、定期接種のワクチンでも接種そのものは「努力義務」であり、接種しない自由や権利は認められている。しかし、誤った考え方に基づくワクチン忌避は、個人レベルのものはまだしも、他人に悪影響を及ぼしてはならない。また、科学的な誤謬、誤った論理展開、真偽不明のエピソードを、あたかも真実のようにメディアが報道することも問題である。ワクチンの理想への思いは別にして、接種対象者の意思決定プロセスへの情報提供、

アドバイスに留めるべきと考えている。

しかし、「医師は、医療及び保健指導を掌ることによつて公衆衛生の向上及び増進に寄与し、もつて国民の健康な生活を確保するものとする」という医師法第一条の条文を遵守するためにも、正しい情報を発信することを心がける必要がある。

各論1：HPVワクチンの安全性と名古屋スタディの経緯と結果、意義と現状、展望

ヒトパピローマウイルス（HPV）感染症は子宮頸がんの原因であり、この感染症を防ぐことで子宮頸がんの発生を防止するというのが、HPVワクチンの基本的な考え方である。このワクチンを使用するためには、安全性と有効性が確認されていることが必須である。名古屋スタディの目的はこのうち「安全性」の部分である。

名古屋スタディの背景 （研究の経緯）

名古屋スタディは、「全国子宮頸がんワクチン被害者の会 愛知県支部」と「愛知県HPVワクチン副反応対策議員連絡会」が、名古屋市長の河村たかし氏に調査の要望書を提出し、市長が実施回答した2015年に計画され、名古屋市立大学公衆衛生学分野が調査解析を担当した分析疫学研究である。

接種が広く行われていた時期の接種対象女性全員を対象とし、国内で唯一の「分析疫学」としてデザインされたものである。

名古屋スタディの方法と結果

対象は、名古屋市在住の1995-2001年度生まれの女性全員（71,177人）で、無記名郵送アンケートによる分析疫学調査である。

目的変数は、①小学校6年～現在の「症状」の有無（主解析）、②症

状による医療機関の受診の有無、③現在の症状の有無と頻度、④症状による学校生活、就職などへの影響で、症状の24項目（月経不順、ひどく頭が痛い、物覚えの悪化、計算ができない、漢字が思い出せない、体が意思に反して動く、手や足に力が入らないなど）は、市を通じて被害者の会と調整した。

返送総計は30,793人分（回答率43.4%）、解析対象は接種、年齢の不明を除いた29,846人であった。

主解析では、24症状の発生のいずれも、年齢調整オッズ比で1を有意に超えるものはなく、リスクにはなっていなかった。医療機関受診と現在の症状への影響も、いくつかは有意であったが、散発的なものにとどまっていた。症状の学校生活などへの影響、重複症状のリスクは認められなかった。以上より、HPVワクチンと接種後症状の関連はないと判断した。

名古屋スタディの反響と展望

名古屋市のHPVワクチンの名古屋データに関して、査読のある英文誌から2編の論文が出版されている。ひとつは、「名古屋スタディ」（鈴木・細野論文）、もうひとつは、日本看護科学雑誌（JJNS）出版の八重・椿両氏の「八重・椿論文」である。この二つの論文の結論は異なっている。その異なる結論について、根拠となる「結果」がどのように出されたものかについて検討することが、最も本質的な議論と考える。

結果がここまで異なる2論文が同時並行的に存在することの問題（著者の責任も含め）について認識されていない。まず、「ここまで結果が異なるものの両立は不可能」というコンセンサスを確認のうえ、「どっちが不適切なのか」ということを検証していくのがロジカルと思われる。

私個人としては、アカデミーで議論すべき課題と考える。

各論2：新型コロナウイルスワクチン、効果と安全性、メディアの報道

ワクチンはもともとpopulation strategyの道具であり、個別医療の進んだ現代の先進国の医療と相いれない。個人の免疫力を高め、接種率を上げ、社会防衛として機能するのが理想であるが、「社会防衛」的な側面に言及しにくい風潮にある。RCTができない市販後の研究は、比較妥当性を保つことが難しく、ワクチンの安全性をエビデンスで示すことは難しい。特にメディアは、ジャーナリズムの五つの基本原則（権力監視、ファクト重視、社会批判、弱者の代弁、透明性）に則って展開する性格上、どうしても反ワクチン方向に傾きやすい。

副反応のメカニズムが分からないから、疫学的に、数を数えて「実際に多いかどうか」を見ることで因果関係を調べているのに、個々のケースで臨床診断として「因果関係が分かる」と考えている人は多いし、メディアもこのあたりの認識がはっきりしない。HPVワクチンの経験からムードに流されないよう、警戒してやってきたが、感染症の収束局面で、急速にワクチンの副反応が強調されるようになってきている。真に科学的で倫理的な感染対策について、コンセンサスが必要である。

終わりに

変異株が出なければ、世界のコロナ禍もこれで一区切りかと思う。これから、様子を見ながら、国を再開することになるが、慎重に行うことと、変異株の出現への注意、対策を怠らないことが重要だと考える。コロナ禍前の状態に「戻す」のではなく、応用可能な「new normal」をめざしたい。また、感情論でなく、科学と根拠、倫理に根差した政策、報道を希望する。

（6月11日、診療内容向上研究会より）

ドクターに最適を提供します

協会の共済制度

次回受付は
来年4月1日開始です

老後リスクに！

中長期の資産形成に

保険医年金

加入者数5万3千人、
積立金総額1兆2千億円

もっと便利な積立制度

積立年金 DefL

※秋の受付は「一時払」の追加受付のみです。

死亡リスクに！

格安の保険料と
高い配当還元

グループ保険 + 新グループ 保険

休業リスクに！

新型コロナウイルス感染症
に備えて

休業保障制度 + 所得補償保険

休業損害補償

天災やコロナ禍による休業損害に

医事紛争リスクに！

医師賠償責任保険

もっとあるリスクに！

自動車保険、火災保険 医療保険、ガン保険

あっちこっちで
保険に入ったから
整理がつかない

選んで
よかった！

協会の共済は
ご加入内容をまとめて管理。
ワンストップサービスを
提供します。

秋の共済制度募集 好評受付中！ お問い合わせは共済部まで ☎ 078-393-1805



これからの研究会・行事のご案内

11月の診内研

第591回診療内容向上研究会

無料

プライマリ・ケア外来診療をちょっとおもしろくするいくつかの臨床的方法

日時 11月26日(土) 午後5時～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室

※講師は来場せず現地からZoomによる講演となります。
※会員の先生方には可能な限りZoomによるオンライン視聴をお願いしておりますが、インターネット環境その他でZoom視聴が困難な場合はご来場ください。

講師 日本医療福祉生活協同組合連合会 家庭医療学開発センター
センター長 藤沼 康樹先生

近年プライマリ・ケア外来や訪問診療においては、多疾患併存をはじめとする複雑な健康問題や下降期の慢性疾患に対応する場面が増えており、従来型の医学的診断治療だけではマネージメントできない事例も少なくありません。こうした健康問題の対応には、ガイドラインやアルゴリズム、標準化治療ではなく、より患者や患者をとりまく状況の個別性を重視することが必要です。今回の講演では、最近の家庭医療学で重視されている患者の個別性を重視したナラティブな臨床的方法論を具体的な症例を通じて紹介したいと思います。【藤沼 記】

Zoom視聴のお申し込み

申し込み

右のURLまたはQRコードからお申し込みください。案内メールが送付されます。

<https://is.gd/tdYJcb>



来場参加 ※Zoom視聴が困難な方等

FAX 078-393-1820

第426回 医院経営研究会

年末調整の知識と実務

日時 11月19日(土) 午後2時30分～5時
(当初、11月26日でご案内していましたが日程が変更になりました。ご注意ください)

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 協会税務講師団 田口 智弘税理士

参加費 3,000円(医経研会員は無料) **入会随時受付**

お申し込みは FAX 078-393-1820

Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

<https://bit.ly/3S3mjmJ>



歯科定例研究会

無料

質の高い歯科衛生士業務の実践 ～院内で取り組む歯周基本治療からSPTの要点～

日時 12月11日(日) 午後2時～5時

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 (株)T style 代表取締役 歯科衛生士 十時 裕子氏

- 第1部 ○歯科衛生士の仕事の可能性 ○歯周治療の流れと要点確認
- 第2部 ○口腔衛生指導のポイント(実際に何を行うと効果的か?)
○痛くない・不快でない施術のポイント
- 第3部 ○院内で取り組む効果的なSPTの実践内容(チェックリストでの確認あり)
○まとめ、質疑応答

お申し込みは FAX 078-393-1802

Zoomによる視聴希望の方 ysng@doc-net.or.jp 事務局・吉永宛

今後の研究会・行事予定

診療内容向上研究会

「第592回」

テーマ 急増する肺MAC症
知っておきたい最新のエビデンス

日時 12月17日(土) 午後5時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室(オンライン併用)

講師 国立病院機構近畿中央呼吸器センター内科
倉原 優先生

歯科の行事

「歯初診」「外来環」「歯援診」「か強診」施設基準研究会

第1部 「歯初診」

第2部 「外来環」「歯援診」「か強診」施設基準対応研修

日時 2023年3月19日(日) 午後2時～5時30分

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

講師 ときわ病院歯科口腔外科部長 足立 了平先生

定員 80人

参加費 1000円(受講証発行します)

その他 研究会・セミナー

薬科部 研究会

テーマ 代表的甲状腺疾患とその治療

日時 12月3日(土) 午後4時～

会場 神戸元町レンタルスペースジェム4階A-2
大会議室(オンライン併用)

講師 神戸大学附属病院糖尿病・内分泌内科講師
福岡 秀規先生

来場定員 40人

参加費 1,000円(会員無料)

院長を夫にもつみなさまのための懇談会

テーマ 居心地の良い環境づくりとコミュニケーション

日時 12月8日(木) 午後2時～

会場 兵庫県保険医協会5階会議室

講師 元大手前短期大学教授 水原 道子先生

定員 30人

参加費 無料

県下各地の行事

「北阪神支部」総会記念講演

テーマ 新型コロナワクチンの効果、有効性と副反応

日時 11月5日(土) 午後3時15分～

会場 伊丹シティホテル 光琳の間

講師 大阪大学免疫学フロンティア研究センター
招聘教授・大阪大学名誉教授 宮坂 昌之先生

「淡路支部」ミニ勉強会

日時 11月8日(火) 午後8時30分～

会場 (リモートミーティング)

話題提供 栗田 哲司先生

「淡路支部」研究会

テーマ 専門医に聞く 開業医でここまで診てほしい
(循環器内科シリーズ第1回)

日時 11月9日(水) 午後7時30分～

会場 洲本市健康福祉館3階

話題提供 県立淡路医療センター循環器内科医長
山下 宗一郎先生

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号—を記載の上、研究会前日までにhyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

来場参加の方 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、定員を絞って開催しますので事前にお申し込みください。会場に手指消毒液をご用意、会場換気を致します。マスクはご持参ください。

※未入会の方は入会の上ご参加ください。



兵庫県保険医協会 これからの研究会・行事のご案内

薬科部研究会

ママに優しい漢方薬

日時 11月19日(土) 午後4時～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 大阪市・さかざきこどもクリニック 院長 坂崎 弘美先生

来場定員 40人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため必ず事前にお申し込みください。お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

参加費 1,000円

お子さんの診察の際に、ママ自身の体調不良について相談されることがよくあります。不眠、頭痛、肩こり、動悸、めまい、生理痛、胃痛、倦怠感、便秘など、聞けば聞くほど様々な症状がでてきます。育児や家事には休みがなく、さらに仕事をしている方も多く、そのストレスは計り知れません。以前は、話を聞いても具体的な治療はしていませんでした。ところが、漢方薬を手に入ると、ママの不調を治療することもできるのです。子どもの健やかな発達のためには、ママの心身の健康が必須です。漢方薬というアイテムがあれば、ママもお子さんも元気にできる可能性があるのです。

今回は、精神症状、月経関連症状、倦怠感について選択する漢方薬について、具体的に症例提示してお話ししたいと思います。【坂崎 記】

Zoom視聴可能な行事の申し込み方法(協会会員のみ)

申し込み方法が明記されていない場合、メールの件名を研究会名にし、本文に①医療機関名②お名前③電話番号一を記載の上、研究会前日までにchyogo-hok@doc-net.or.jpへ送信してください。案内メールを返信します。

地域医療部 第41回在宅医療研究会

神戸市における新型コロナウイルス感染症の 自宅療養・入院待機者への訪問看護

日時 11月5日(土) 午後3時～5時

会場 兵庫県保険医協会 6階会議室(オンライン併用)

講師 医療法人社団慈恵会 北須磨訪問看護・リハビリセンター所長
慢性疾患看護専門看護師 藤田 愛氏

来場定員 40人

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため必ず事前にお申し込みください。お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://bit.ly/3RypLGd>



来場参加 FAX 078-393-1820

Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://bit.ly/3QxdjVT>



来場参加 FAX 078-393-1820

在宅医療点数の手引2022年度版学習会

日時 11月12日(土) 午後2時30分～

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 戸田内科・脳神経内科(明石市) 戸田 和夫先生

来場定員 50人(申込順)

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため必ず事前にお申し込みください。お申し込み後のキャンセルも、ご連絡をお願いいたします。

参加費 1,000円

『在宅医療点数の手引』は1冊税込4,000円(事前送付は送料別)



Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://bit.ly/3BsAjzU>



来場参加 FAX 078-393-1820

Zoom視聴のお申し込み

11月4日金曜日まで

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://onl.bz/LBQ32DW>



来場参加 FAX 078-393-1820

医院経営研究会 特別研究会

インボイス制度学習会

日時 12月10日(土) 午後3時～4時30分

会場 兵庫県保険医協会 5階会議室(オンライン併用)

講師 神戸共同経理事務所 大嶋 誠税理士

Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://bit.ly/3MFulAY>



来場参加 FAX 078-393-1820

国際部研究会

在日ベトナム人の診療に関するコツ ～ベトナム人医師として 外国人へのコロナ支援の経験から～

日時 11月5日(土) 午後5時～6時30分

会場 兵庫県保険医協会 6階会議室(オンライン併用)

講師 京都民医連中央病院 腫瘍内科医長
ファム グエン クイー先生



Zoom視聴のお申し込み

URLまたはQRコードからお申し込みください。

申し込み

<https://bit.ly/3BsAjzU>



来場参加 FAX 078-393-1820

勤務医のための開業実現セミナー

理想を実現する新規開業

日時 11月19日(土) 午後2時～午後6時

会場 兵庫県保険医協会 6階会議室

参加費 会員2,000円 会員外6,000円

第1部 午後2時～

○私の開業体験 開業医の診療と経営の実際
神戸市・武富整形外科 院長 武富 雅則先生

第2部 午後3時15分～

①開業コンセプトの策定と開業地選定のポイント
(株)日本医業総研コンサルティング部 部長 山下 明宏氏
②開業資金の作り方と経営が立ち上がるまでの収支
日本経営ウィル税理士法人 医療事業部 次長 小松 裕介氏

協会会員による
リアルな体験談



参加者には「新規開業医の手引き」(保険医協会監修)を無料進呈

来場参加 FAX 078-393-1820

会場

兵庫県保険医協会

元町駅から南徒歩10分兵庫県農業会館向かい
神戸市中央区海岸通1丁目2-31 神戸フコク生命海岸通ビル

お問い合わせは ☎ 078-393-1801